

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 20日

大分県知事 殿



提出者

住 所 大分県中津市耶馬溪町大字深耶馬1523

氏 名 有限会社 福田農園

代 表 取 締 役 福 田 実

電話番号 0979-55-2562

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称

有限会社 福田農園 耶馬溪農場

事業場の所在地

大分県中津市耶馬溪町大字深耶馬1523

計画期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類

01 農業

② 事業の規模

母豚1,000頭一貫経営

③ 従業員数

20人

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

動物の糞；自ら堆肥化

動物の死体；化成処理業者へ委託処理

(委託先；株式会社 熊本蛋白ミール公社)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表 (廃棄物統括責任者) — 廃棄物処理方針の決定
廃棄物処理に関する各種事項の決定

農場長 (廃棄物実務担当責任者) — 廃棄物処理計画の作成
マニフェストの交付、管理
各種報告書の作成

作業員 (廃棄物実務担当) — 廃棄物処理等の報告書作成
廃棄物処理実務

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞	動物の死体
	排 出 量	8, 500 t	153.46 t
	(これまでに実施した取組) 飼養衛生管理基準の強化		
② 計画	【目標】 令和4年度		
	産業廃棄物の種類	動物の糞	動物の死体
	排 出 量	9,000 t	100 t
	(今後実施する予定の取組) 飼養衛生管理基準の徹底		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	3,060 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
② 計画	【目標】 令和4年度		
	産業廃棄物の種類	動物の糞	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3,240 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	5,440 t	t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】 令和4年度		
	産業廃棄物の種類	動物の糞	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	5,760 t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】令和4年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	153.46 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 動物の死体は、化成処理場にて委託処理する。		

② 計画	【目標】令和4年度		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	100 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 動物の死体は、化成処理場にて委託処理する。		
※事務処理欄			